

事 務 連 絡
令和8年9月15日

各保健所設置市長 様

兵庫県保健医療部
疾 病 対 策 課 長

山口県における麻しん患者の発生に伴う注意喚起について

令和8年9月13日に山口県が別添のとおり麻しん患者の発生について公表を行いました。当該患者からの感染による新たな患者発生の可能性がありますので、情報共有します。

なお、別添写しのとおり、関係団体あて通知していること申し添えます。

【担当】

兵庫県保健医療部疾病対策課

感染症対策推進班 藤井

TEL : 078-362-3213 (内 79329)

MAIL : shippeitaisaku@pref.hyogo.lg.jp



事 務 連 絡
令和8年9月15日

一般社団法人兵庫県医師会長
一般社団法人兵庫県病院協会长
一般社団法人兵庫県民間病院協会长
一般社団法人兵庫県精神科病院協会长

} 様

兵庫県保健医療部
疾 病 対 策 課 長

山口県における麻しん患者の発生に伴う注意喚起について

平素は、本県の感染症対策の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和8年9月13日に山口県が別添のとおり麻しん患者の発生について公表を行いました。

当該患者からの感染による新たな患者発生の可能性がありますので、情報共有するとともに、貴会会員への周知についてよろしくお願いします。

記

- 1 医療機関において麻しんの疑い例を診察した場合、最寄りの健康福祉事務所（保健所）まで連絡をお願いします。

【担当】

兵庫県保健医療部疾病対策課

感染症対策推進班 藤井

TEL : 078-362-3213 (内 79329)

MAIL : shippeitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

記者配布資料

令和8年9月13日（日）

部課名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
山口県 健康福祉部 健康増進課	前田 和成	感染症班 河地 俊彦	主任 川崎 加奈子	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県 岩国 柳井 周南 山口 防府 宇部 山陽小野田 下関 長門 萩 首都圏			

麻しん（はしか）の発生について

令和8年9月12日（土）に、山口環境保健所管内の医療機関から麻しん臨床診断例の届出があり、環境保健センターにおいて行政検査（PCR 検査）を実施したところ、陽性であることが確定しました。

当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、下記の公共交通機関を利用しており、不特定多数の方と接触している可能性があることが判明したので、広く注意喚起いたします。

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護や人権尊重の観点から、提供資料の範囲内での報道に、各段の御配慮をお願いします。

1 患者概要

- 年代、性別：20 歳代、男性
- 居 住 地：福岡市在住
- 経 過 等：
9月 9日（水）発熱
9月12日（土）発疹出現
医療機関より発生届（臨床診断例）
環境保健センターにて PCR 検査実施
結果、陽性確定
- 感染可能期間：発症日前日（9月8日）から解熱後3日間を経過するまで
- 予防接種歴：不明
- 現在の状況：山口環境保健所管内で療養中（回復傾向）
- そ の 他：
当該患者は、9月上旬に福岡県内で発生した麻しん患者の接触者です。

2 患者が不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関

利用日	利用時間帯	利用路線等
9月12日(土)	8時30分頃から 9時10分頃まで	新幹線のぞみ14号 東京行 博多駅(8:36 発)から新山口駅(9:10 着)ま での区間 (1号車自由席)

[特記事項]

※関係機関への直接のお問い合わせは、お控えください。

※麻しんウイルスは、空気中での生存期間は2時間以内とされていますので、麻しん患者の利用日以外に上記公共交通機関を利用された場合は、感染のおそれはありません。

※上記公共交通機関を利用された方で、9月12日から3週間(10月3日まで)の間に麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず保健所に連絡してください。

※医療機関を受診されるときは、その前に必ず保健所へ連絡してください。

※感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設への風評被害がないよう特段のご配慮をお願いします。

3 県の対応

患者の健康調査及び疫学調査を実施し、接触者の健康観察、まん延防止のための指導を行っています。

《参 考》

近年の麻しんの発生件数 (件)

区 分	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全 国	744	10	6	6	28	45	265	552※
山口県	0	0	0	0	0	0	3	1

※R8年の全国は、第36週(8/31～9/6)までの速報値

県民の皆様へ

麻疹（はしか）について

麻疹の感染力は極めて強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

《症 状》

- ・感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

《感染経路》

- ・空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへと感染します。

《予防方法》

- ・予防接種が最も有効な予防方法です。母子手帳等で接種歴を確認し、未接種の方は予防接種をすることをお勧めします。
- ・麻疹風しん混合ワクチン（MR ワクチン）は定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、1歳児（第1期）及び小学校入学前の1年間の小児（第2期）とされていますので、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。

《各保健所における健康相談窓口》

◆岩国環境保健所	0827-29-1523
◆柳井環境保健所	0820-22-3631
◆周南環境保健所	0834-33-6423
◆山口環境保健所	083-934-2533
◆防府保健所	0835-22-3740
◆宇部環境保健所	0836-31-3203
◆長門環境保健所	0837-27-0791
◆萩環境保健所	0838-25-2667
◆下関市立下関保健所	083-231-1530

記者配布資料

令和8年9月14日（月）

部課名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
山口県 健康福祉部 健康増進課	前田 和成	感染症班 河地 俊彦	主任 川崎 加奈子	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県 岩国 柳井 周南 山口 防府 宇部 山陽小野田 下関 長門 萩 首都圏			

麻しん（はしか）の発生について（第2報）

令和8年9月13日（日）に公表を行った麻しん（はしか）発生事例について、患者の公共交通機関の利用状況に関する追加の情報をお知らせします。

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護や人権尊重の観点から、提供資料の範囲内での報道に、各段の御配慮をお願いします。

1 患者が不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関

利用日	利用時間帯	利用路線等	
9月12日 (土)	7時30分頃から 7時45分頃まで	西鉄バス 国際会議場サンパレス前バス停(7:33 発)から博多駅前バス停(7:44 着)まで の区間	今回 公表
〃	8時30分頃から 9時10分頃まで	新幹線のぞみ14号 東京行 博多駅(8:36 発)から新山口駅(9:10 着)までの区間 (1号車自由席)	公表済

[特記事項]

※関係機関への直接のお問い合わせは、お控えください。

※麻しんウイルスは、空気中での生存期間は2時間以内とされていますので、麻しん患者の利用日以外に上記公共交通機関を利用された場合は、感染のおそれはありません。

※上記公共交通機関を利用された方で、9月12日から3週間（10月3日まで）の間に麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず保健所に連絡してください。

※医療機関を受診されるときは、その前に必ず保健所へ連絡してください。

※感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設への風評被害がないよう特段のご配慮をお願いします。

2 患者概要

- (1) 年代、性別：20 歳代、男性
- (2) 居 住 地：福岡市在住
- (3) 感染可能期間：発症日前日（9 月 8 日）から解熱後 3 日間を経過するまで
- (4) 経 過 等：
 - 9 月 9 日（水）発熱
 - 9 月 12 日（土）発疹出現、医療機関受診
 - 環境保健センターにて PCR 検査を実施し、陽性判明
- (5) そ の 他：9 月上旬に福岡県内で発生した麻疹患者の接触者

県民の皆様へ

麻疹（はしか）について

麻疹の感染力は極めて強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

《症 状》

- ・感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

《感染経路》

- ・空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへと感染します。

《予防方法》

- ・予防接種が最も有効な予防方法です。母子手帳等で接種歴を確認し、未接種の方は予防接種をすることをお勧めします。
- ・麻疹風疹混合ワクチン（MR ワクチン）は定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、1 歳児（第 1 期）及び小学校入学前の 1 年間の小児（第 2 期）とされていますので、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。

《各保健所における健康相談窓口》

- | | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| ◆岩国環境保健所 | 0827-29-1523 | ◆柳井環境保健所 | 0820-22-3631 |
| ◆周南環境保健所 | 0834-33-6423 | ◆山口環境保健所 | 083-934-2533 |
| ◆防府保健所 | 0835-22-3740 | ◆宇部環境保健所 | 0836-31-3203 |
| ◆長門環境保健所 | 0837-27-0791 | ◆萩環境保健所 | 0838-25-2667 |
| ◆下関市立下関保健所 | 083-231-1530 | | |